

# 平成27年度 第1回 温海地域振興懇談会

## 次 第

日 時 平成27年6月26日(金)  
午後1時30分～  
場 所 温海庁舎 6階大会議室

[委嘱状交付]

1. 開 会
2. あいさつ
3. 委員紹介
4. 会長・副会長の選出
5. 報 告  
    (1) 温海地域振興懇談会の内容について
6. 協 議  
    (1) 平成27年度予算及び主要事業の概要について  
    (2) 温海地域振興計画について  
    (3) 温海地域の重点課題について  
    (4) その他
7. 閉 会

## 温海地域振興懇談会委員名簿

任期:平成27年6月1日～平成29年3月31日

所属団体名等	役職名等	氏名	備考
温海地域自治会長会	会 長	奥 井 厚	
温海町森林組合	代表理事組合長	大 井 喜 助	
庄内たがわ農業協同組合	営農担当理事	菅 原 久 継	
山形県漁業協同組合	理 事	佐 藤 清 八 郎	
出羽商工会温海支部	代 表 理 事	佐 藤 満 也	
あつみ観光協会	会 長	若 松 邦 彦	
温海地区民生児童委員協議会	副 会 長	小 田 正 宏	
温海体育協会	会 長	佐々木 眞 人	
鶴岡市老人クラブ連合会温海支部	副 支 部 長	三 浦 喜 一 郎	
温海地域婦人会	会 長	佐 藤 美 代 子	
温海地域青年団体連絡協議会	代 表	伊 藤 貢	
鶴岡市消防団温海方面隊	方 面 隊 長	粕 谷 明	
鼠ヶ関地域協議会「蓬莱塾」	会 長	佐 藤 眞 紀 子	
福栄地域協議会「福の里」	副 会 長	五 十 嵐 正 直	
あつみ湯けむり女子会	会 計	本 間 加 知 子	

### 【市関係者】

所 属	職 名	氏 名	備 考
温海庁舎	支 所 長	鈴木金右エ門	
温海庁舎	総務企画課	課 長	三 浦 市 樹
温海庁舎	市民福祉課	課 長	石 塚 み さ
温海庁舎	産業課	課 長	佐 藤 光 治
建設部	温海建設事務室	室 長	佐 藤 伸 一
温海庁舎	総務企画課	課長補佐(兼) 総務地域振興主査	五 十 嵐 浩 一
温海庁舎	総務企画課	総務地域振興専門員	本 間 由 縁
企画部	地域振興課	地域振興専門員	齋 藤 芳

## 温海地域における地域振興の取組みについて

年度	経 過 ・ 内 容
平成17年度	市町村合併「新鶴岡市」誕生
	「新市建設計画」策定
	「温海地域審議会」設置 温海地域審議会 年1回開催 ◆地域審議会の概要、新市建設計画の概要について
平成18年度	温海地域審議会 年1回開催 ◆組織機構の変更、合併協定項目の状況、予算及び主な事業の概要について
平成19年度	温海地域審議会 年1回開催 ◆予算及び主な事業の概要について
平成20年度	鶴岡市総合計画「生命いきいき文化都市創造プラン」策定
	温海地域審議会 年1回開催 ◆予算及び主な事業の概要、事務事業調整の調整状況について
平成21年度	温海地域審議会 年1回開催 ◆予算及び主な事業の概要、地域コミュニティ活性化の取組み、農業農村課題調査の実施について
平成22年度	温海地域審議会 年5回開催 ◆予算及び主な事業の概要、総合計画三カ年実施計画について ◆総合計画実施計画、過疎地域自立促進計画、学校適正配置について ◆地域コミュニティ実態調査の実施状況と課題について ◆協議テーマの設定、分散会の実施
平成23年度	温海地域審議会 年4回開催 ◆予算及び主な事業の概要について ◆行政改革における地域庁舎の見直しについて ◆総合計画実施計画、国土利用計画について ◆提言書について 市長に対する「提言書」提出 提言1 地域グループのネットワーク化について 提言2 日沿道延伸に伴う観光誘客事業について 提言3 農林水産業の後継者づくりについて
平成24年度	温海地域審議会 年5回開催 ◆予算及び主な事業の概要について ◆提言に基づく事業計画について ◆総合計画実施計画、コミュニティ基本計画、学校適正配置について ◆協議テーマの設定、分散会の実施
平成25年度	温海地域「地域振興ビジョン」見直し 「温海地域振興計画」策定
	鶴岡市総合計画「生命いきいき文化都市創造プラン」後期基本計画策定
	温海地域審議会 年4回開催 ◆予算及び主な事業の概要について ◆新地域振興計画の策定について ◆視察研修：高速道サービスエリア、パーキングエリアの現状(楢引) ◆温泉街のまちづくりに関する住民懇談会参加 ◆総合計画後期基本計画について ◆提言書について 市長に対する「提言書」提出 日沿道全線開通に向けた地域振興策について ～ストロー現象を防ぐための魅力ある地域づくり～ 1 地域産業の振興 2 あつみ温泉の振興 3 鼠ヶ関地区の振興
平成26年度	温海地域審議会 年3回開催 ◆予算及び主な事業の概要について ◆温海地域振興計画について ◆新市建設計画の見直しについて ◆総合計画実施計画について 地域審議会の設置期間満了により廃止
平成27年度	「温海地域振興懇談会」設置

# 鶴岡市地域振興懇談会設置要綱

(設置)

## 第1条

鶴岡市における地域振興の推進にあたり、幅広い視点から意見交換・議論を行い、今後の取組の方向性やより良い振興策・活性化策の検討に資するため、鶴岡市地域振興懇談会（以下「懇談会」という。）として、次の各号に掲げる区域を対象とする当該各号に定める懇談会を置く。

- (1) 藤島地域の区域 藤島地域振興懇談会
- (2) 羽黒地域の区域 羽黒地域振興懇談会
- (3) 櫛引地域の区域 櫛引地域振興懇談会
- (4) 朝日地域の区域 朝日地域振興懇談会
- (5) 温海地域の区域 温海地域振興懇談会

(所掌事務)

**第2条** 懇談会は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 地域振興計画に関する事項
- (2) 地域課題及び地域活性化全般に関する事項
- (3) その他市長が必要と認める事項

(組織)

**第3条** 懇談会は、各々委員15人以内で組織する。

2 委員は、各区域に住所を有する者又は鶴岡市に住所を有し、各区域に存する事務所等に勤務している者で、次の各号に掲げるもののうちから、市長が委嘱する。

- (1) 公共的団体等を代表する者
- (2) 有識者

(任期及び失職)

**第4条** 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員の再任は、妨げないものとする。

(会長及び副会長)

**第5条** 懇談会に会長及び副会長1人を置き、委員の互選によって定める。

- 2 会長は、会務を総理し、懇談会を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

**第6条** 懇談会の会議(以下「会議」という。)は、会長が招集する。

- 2 会議の議長は、会長が務める。
- 3 会議は、公開とする。ただし、議長が必要と認めるときは、会議に諮った上公開しないことができる。

(庶務)

**第7条** 懇談会の庶務は、各区域を所管する地域庁舎の担当部署において処理する。

(その他)

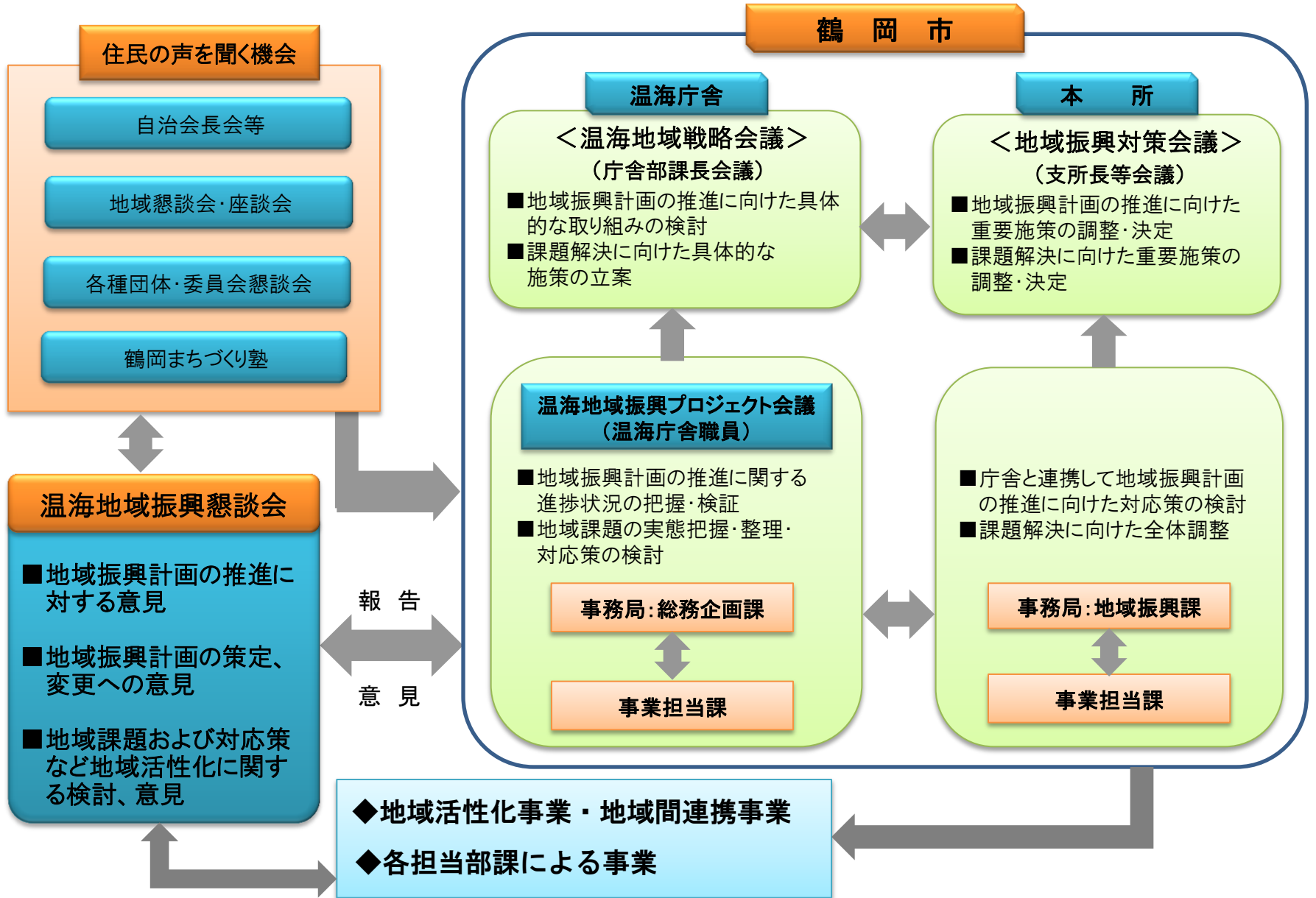
**第8条** この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に関し必要な事項は別に定める。

#### 附 則

(施行期日)

- 1 この要綱は、平成27年4月1日から施行する。  
(最初に委嘱される委員の任期の特例)
- 2 この要綱の施行後最初に委嘱される委員の任期は、第4条第1項本文の規定にかかわらず、平成29年3月31日までとする。

# 温海庁舎における地域振興計画推進フロー



# 地域振興計画の推進スケジュール



# 別紙資料

温海地域の重点課題と取り組み状況		担当課名	総務企画課
1. 課題項目	温海地域のコミュニティと自治会・公民館のあり方について		
2. 現状・実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 温海地域では、住民自治組織として 27 の「自治会」が集落単位で組織され、それぞれが独自の活動を行っている。また、自治公民館としても、自治会活動と一体となった取り組みを展開してきた。</li> <li>▶ 第1～4 地区公民館においては、拠点施設は持たないものの、地域づくり事業や地域課題解決に向けた事業を行政が調整役となり実施してきた。</li> <li>▶ 平成元年、温海ふれあいセンターの完成により、町(中央)公民館として全域における生涯学習事業等に取り組んできた。</li> <li>▶ 近年急激に進む世帯数の減少や少子高齢化、多様化する住民ニーズ、行政からの依頼への対応など、自治会の活動は人的にも財政的にも運営が厳しい状態となっており、自治組織力とコミュニティの低下が危惧されている。</li> </ul>		
3. これまでの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自治会運営に対する財政的支援と行政事務の依頼などを統合して「住民自治組織総合交付金」を交付してきた。</li> <li>○住民自らの地域課題解決に向けた検討や行政とのパートナーシップの構築として「集落懇談会」の開催や集落担当制度を導入してきた。</li> <li>○モデル的に集落活性化懇談会で話し合い集落ビジョンを作成し実践する自治組織に対して「過疎地域集落対策事業補助金」を交付してきた。</li> <li>○平成 25 年度末には、第 1～4 地区公民館を廃止し、平成 26 年度に、それまでの地区公民館事業に防災と福祉機能を備えた第 1～4 地区自治会が発足した。</li> </ul>		
4. 今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自治会運営に対する財政的支援、行政の円滑な推進を目的とした「住民自治組織総合交付金」、自治公民館における公民館運営活動に対する「公民館類似施設整備事業」を継続する。</li> <li>②自立した住民自治組織として、また行政のパートナーとしての「自治会」の活動や組織運営に対する人的・財政的支援を継続する。</li> <li>③温海ふれあいセンターの指定管理者制度導入と合わせ、温海全域を対象にした公民館事業を実施している温海公民館を廃止し、生涯学習などの公民館事業については、民間活力(指定管理者団体)を導入した展開を図る。</li> </ul>		
5. 主な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自治組織総等運営活動対策事業</li> <li>②過疎対策推進事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>・集落支援員設置事業、集落振興ビジョン実践事業、地域おこし協力隊導入事業</li> </ul> </li> <li>③集落活性化懇談会開催事業</li> <li>④公民館類似施設整備事業(運営・活動に関する事業)</li> </ul>		



温海地域の重点課題と取り組み状況

担当課名

市民福祉課

1. 課題項目

人口減少・超高齢化社会で  
 高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けられる地域づくりの推進  
 ※温海地域の少子高齢化の現状の実態の情報共有

2. 現状・実態

(人口動態等)  
 人口減少、少子高齢化は全国的な問題でもあるが、鶴岡市内でも、温海地域は特に人口減少が大きく、合併時の人口 10,124 人、平成 27 年 3 月 31 日現在 8,050 人、10 年で約 2,074 人が減少 20.5%の減少率となっている。年間約 200 人が減少している。

(少子化の状況)  
 温海地域年間出生数について、平成 26 年中は 29 人となった。※鶴岡市全体では平成 23 年から 1000 人を切っている。  
 平成 27 年度温海地域小学校入学児童数 45 人、温海中学校入学児童数 56 人。温海地域での婚姻は平成 26 年中では 14 件。

(高齢化の状況)  
 平成 27 年 3 月 31 日現在、65 歳以上の高齢者は 3,271 人(40.6%)、75 歳以上 1,869 人(23.2%)。将来の人口予測をする国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば平成 42 年には人口が平成 22 年の人口を 100 とすると約 7 割弱まで減少するとされている。

人口減少の要因として、転出、他地域への転居による人口減少も大きい。平成 26 年度において、転出 137 人、転入 85 人、温海地域以外へ転居 99 人、他から温海地域へ転居 42 人となっている。

(介護の必要度)  
 一方、温海地域の 65 歳以上の方介護認定者数は平成 27 年 3 月末現在 698 人。温海地域介護認定率は 21.3%で市の平均値と大差はない状況。介護認定率は現状として、75 歳以上になると約 3 割の方が認定を受けられており、85 歳以上になると約 6 割は認定を受けている状況であり、このまま高齢化が進むことで介護を必要とされる方が増加することが予測される。

(一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯の増加)  
 また、温海地域の特徴として、一人暮らしの高齢者が多いことである。  
 平成 27 年 3 月 31 日現在で、高齢者一人暮らし 373 世帯、高齢者のみの世帯 396 世帯併せて 769 世帯が高齢者のみの世帯(26.8%)となっており、

	<p>市内の中で最も高い割合になっている。平成 27 年 3 月 31 日現在 65 歳以上の方が 373 人(世帯)、うち女性が 274 人でやく 73%となっている。また、75 歳以上の一人暮らしの方が多く 265 人(世帯)で 71%となっている。</p> <p>高齢者は増え続ける一方、老人クラブ会員数は減少しており今後、高齢者における地域のつながり希薄化が一層懸念される要因の一つとなっている。</p> <p>高齢者だけでなく課題として認識し、超高齢化社会における、集落単位、地区単位での地域福祉のありようを検討する必要がある。</p>
<p>3. これまでの取組み</p>	<p>各種高齢者等への福祉サービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防事業(ミニデイサービス事業、健康教室、通所型介護予防事業等)、介護が必要な方へのサービス、一人暮らし高齢者等を支援するサービス、家族介護者を支援するサービス、高齢者住宅整備資金の融資あつせん、介護保険で在宅で利用できるサービス等</li> </ul>
<p>4. 今後の取組み</p>	<p>人口減少、少子高齢化による影響は多くの分野の課題となっているが、ここでは 4 割を超え今後ますます増えることが予測される温海地域において、若者が定着できる産業の創出等地域振興と合わせ、高齢者が可能な限り、住み慣れた地域で自立し安心して生き生きと暮らせるよう地域づくりに取り組みを進める必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康寿命の延伸(介護予防事業等地域活動への積極的な参加の推進、食生活改善の推進)若いうちからの取組みの強化</li> <li>・住み慣れた地域医療、介護、予防、住まい、生活支援が切れ目なく一体的に提供される、地域の特殊性を考慮した「地域包括支援システム」の構築</li> <li>・介護予防への積極的な参加と合わせ地域社会でさらにつながりを深め一人ひとりが地域社会での役割を持ち、地域で孤立しない必要とされる高齢者(人)施策の展開を進める。</li> <li>・一人一人の生きがいがいづくりの推進</li> </ul>

温海地域の重点課題と取り組み状況		担当課名	産業課
1. 課題項目	農業、林業、水産業、観光業をどのように振興するか。		
2. 現状・実態	人口減少が著しく、全ての分野において後継者問題に直面している。 特に、農業分野の米価下落や旅行形態の変化、地域間競争の激化など取り巻く環境変化に対応しきれず、活力を失いつつある。		
3. これまでの取り組み	<p>1 地域産業の振興 「温海かぶ」「しな織」「特用林産物」の生産・販売と特色を生かした取組を実施してきた。</p> <p>2 あつみ温泉の振興 温海川沿いの市道を人中心のみちづくり・まちづくりをテーマに整備するとともに、鉢植え、ベンチ・テーブル、イーゼルなどの設置によるおもてなしの向上、足湯カフェチットモッシュェの開設などを実施してきた。</p> <p>3 鼠ヶ関地区の振興 「念珠関」「念珠の松庭園」「弁天島」などの史跡名勝や「神輿流し」「大漁旗フェスティバル」「トライアスロン大会」「お魚夕市」「漁船クルージング」などのイベントによる観光誘客に地元団体と一緒に取り組んできた。</p>		
4. 今後の取り組み	<p>▶ 自然体験旅行推進による交流人口の拡大（地域への経済波及効果） → 修学旅行の誘致 → 体験に活用できる資源の磨き上げとプログラムづくり → NPO 法人自然体験温海コーディネットの自立支援</p> <p>▶ 関川しな織協同組合の立て直し → しなの花プロジェクトの推進 → 海外への販路開拓を視野に入れたミラノ万博への参加</p> <p>▶ 日沿道全線開通に向けた地域活性化 → 鼠ヶ関 IC 周辺への“新道の駅”整備と地域産業の振興 → 既存道の駅「あつみ」しゃりんと兼ね合い整理</p> <p>▶ 水産業の振興 → 平成28年の全国豊かな海づくり大会を契機とする水産業振興 → 全国に向けた地域の魅力情報発信</p> <p>▶ 林業の振興 → 温海町森林組合の主体的取組を支援(木質バイオマス発電事業への材料安定供給) → (仮称)林道念珠関線開設事業の新規事業化</p> <p>▶ 農業の振興 → 中山間地域に適した農業のあり方 → 株式会社あつみ農地保全組合の主体的取組を支援</p> <p>▶ 焼畑あつみかぶのブランド化の推進 → 高品質のかぶの安定生産 ⇒ 皆伐施業地の焼畑あつみかぶ生産</p> <p>▶ 地域活性化 → 「蓬萊塾」、「福の里」の主体的活動の支援 → 福栄地域の「地域おこし協力隊」の活動支援</p>		
5. 主な事業	<p>① 焼畑温海かぶブランド力向上対策事業</p> <p>② 魅力ある温泉街づくりプロジェクト</p>		

温海地域の重点課題と取り組み状況

担当課名

建設事務室

1. 課題項目	主要幹線道路の改良整備事業促進に向けた地元調整について
2. 現状・実態	国道345号及び主要地方道余目温海線において、今後数年かけて改良整備事業が予定されている。
3. これまでの取り組み	測量等に伴う地元住民や地権者への説明などを行っている。
4. 今後の取り組み	事業が円滑に進むよう、事前に代表者と打合せを行い、想定される課題等を整理した上で、事業進捗にそった説明会等を適時に行う。
5. 主な事業	① 道路改築事業 国道345号(一本木工区)
	② 交通安全道路事業 主要地方道余目温海線(温海)



# 目 次

1. 計画策定の趣旨	.....	1
2. 温海地域の特性・概要	.....	2
3. 温海地域のこれから目指す方向性	.....	3
4. 施策の基本方針	.....	4
5. 具体的な展開方策	.....	5

## 【参考資料】

○統計資料	.....	11
○人口・世帯数の推移	.....	12
○観光客数の推移	.....	13
○主要農作物作付状況の推移	.....	14
○漁獲量・漁業生産額の推移	.....	14

## 1. 計画策定の趣旨

鶴岡市は平成17年10月の合併後、各地域で築かれてきた地域特性や地域固有の資源を生かしたまちづくりを進めるため、特性ある地域発展のための中長期プロジェクトづくりに取り組みました。

各地域庁舎では、自然、歴史、文化、産業及び主要施策などの各地域における地域資源や地域特性、また地域の実態についての調査や分析を行いながら、これまでの活用方法等についての点検を行いました。

また、新たに活用すべき資源や解決すべき課題等についても調査、検討を深めながら、重点的に取り組むべき分野や政策課題を抽出して、具体的に施策として推進するための個別プロジェクトを設定し、地域庁舎ごとに平成20年3月に地域振興ビジョンを策定しました。

温海庁舎では、「温海地域・地域振興ビジョン」に基づき、地域資源の付加価値を高め、新たな産業の創出や人材育成の推進を図ることを目標に「温海温泉の振興」、「海・水産業を活かした地域活性化」、「交流ソフトプログラムの開発」の3つを個別プロジェクトと位置づけ、それぞれのプロジェクトを連携させながら取り組みを行って参りました。

しかしながら、社会や地域を取り巻く状況の変化や、現在の地域の実情に照らし合わせ、課題を捉え直す必要もあることから、先に策定した地域振興ビジョンの見直しを行い、新たな地域振興計画を策定することといたしました。

このたび策定した「温海地域振興計画」は、鶴岡市総合計画の基本構想や後期基本計画との整合性を図りながら、単に個別プロジェクトの事業評価による見直しにとどまらず、温海地域審議会からの提言や集落活性化懇談会の結果など住民の意見を反映させるとともに、策定当初と大きく変化した社会環境、特に、日本海東北自動車道鶴岡JCT～あつみ温泉IC間の開通と予定される全線開通、小学校の学区再編や行財政改革など行政の取組みなども加味して策定するもので、温海地域の資源や特性を生かした地域振興を更に推進していくため、地域の目指す方向と重点的に推進する取組みについて明らかにするものです。

計画期間は平成26年度から平成30年度までの5年間とし、この計画に基づき温海地域の更なる振興・発展に向け、地域振興推進事業を展開しながら、地域の特色あるまちづくりを推進していきます。

## 2. 地域の特性・概要

温海地域は海・山・川・温泉など多様な自然資源を有し、これらの自然環境は、長い歴史の中で住民の生活、文化面に大きな影響を与え、地域の貴重な財産となっています。そして、この資源を活かして古来より小規模ながらも農業、漁業、林業、観光業など、多様な地域産業が営まれてきました。



「焼畑あつみかぶ」栽培のための焼畑作業

また、日本海と摩耶山系に囲まれた特異な地形と道路事情等により、以前は旧鶴岡市街地などへの地域外通勤者は少なく、冬期は出稼ぎ者の多い地域でもありました。

そのため、地域振興の重要な施策として、集落単位を基本として企業誘致に取り組み、多くの集落に企業の進出がみられました。

しかし、経済情勢の悪化などから企業の撤退・倒産やリストラ等が進み、地域内の雇用人口が減少している状況にあります。

この様な経過から、高校・大学卒業時に地域外就職を行う若者が増え、更に、交通事情の改善により、市街地などへの地域外就労者も増加しています。地域外就労者の通勤による負担は大きく、特に冬期間の長距離通勤の負担は大きいものがあり、結果的に地域を離れる要因となっています。

職場環境に起因して地域を離れる住民は比較的若い世代に多く、少子化と合わせて地域の担い手不足の大きな要因になっており、地域産業の衰退だけでなく、地域に脈々と伝承されてきた様々な伝統行事や生活文化の継承も危惧されています。

このように、地域産業の衰退による地域外就労者の増加などを起因とした人口減少及び少子高齢化は、産業だけでなく、福祉・教育・地域コミュニティーなどに様々な問題を引き起こし、生活環境や利便性の低下が更なる人口減少を招き、地域全体の活力を減退させています。

そのため、独自の発展をなしてきた温海地域の住民自治組織や自然豊かなこの地域においては、人・物等、貴重な資源の保全と活用は大変重要なことであり、今まで以上にその対策を講じなければなりません。



しかし、対策を実施するにあたっては、当地域は小規模ながら多様な地域産業や資源を有するため、一つの産業、資源を対象とした対策では地域全体の共有の振興策にはなり難い状況があります。

そこで、小規模であっても、農業、漁業、観光業などの個々の産業の振興を図りながら有機的に連携させることにより、地域産業全体の総合力を高める事が重要な方策であると考えられます。

また、産業振興だけでなく、子供から老人まで全ての住民が地域に対して自信と誇りを持ち、地域と繋がり、地域の資源を生かしながら楽しく豊かに暮らすことができる地域づくりも地域振興にとって重要であると考えられます。

### 3. 地域のこれから目指す方向性

日本海東北自動車道（あつみ温泉 I C～鶴岡 J C T間）の開通や予定される日本海沿岸東北自動車道の全線開通、鼠ヶ関 I C（仮称）の設置など社会基盤の整備による環境変化を的確に捉え、交流人口の拡大を図る必要があります。また、豊かな自然と歴史が生み出す「温海かぶ」などの食文化、「しな織」などの伝統工芸、その他多様な資源を最大限に生かし、行政と住民が一体となりながら地域振興を図ると共に、資源維持のための後継者育成に取り組まなければなりません。



日沿道鶴岡～温海間開通イベント



国指定伝統的工芸品工芸品  
「しな織」のしなうみ、へそかき作業風景

これらを具現化するための地域振興策として、「あつみ温泉の振興」、「海・水産業を活かした地域振興」、「交流を核にした地域振興」を3本の柱に地域活性化を図ります。

この3つのプロジェクトを連携して実施することにより、地域内経済効果の循環、地域交流人口の増加が図られ、来訪者がもたらす派生需要や情報が地域内の生産に結びつき、その生産がまた需要を呼ぶことで好循環が期待されます。また、地域内生産の増加は、結果的に地域の雇用の場の創出に繋がり、地域資源を生かした産業振興が図られることにより、漁業、農業などの後継者対策に繋がるものであり、ひいては、住民自治組織の強化にもつながるものであると考えられます。

## 4. 施策の基本方針

### 基本方針（１） 「あつみ温泉の振興」

温海地域の観光の中心であるあつみ温泉は、温海川沿いの「かじか通り」が整備され、日本海東北自動車道開通の効果もあり観光客は増加傾向にあります。この機を捉え、「かじか通り」「葉月橋通り」を重点区域として、行政、民間団体それぞれが役割を認識し、一体となって魅力ある景観づくりに取組みます。

また、あつみ温泉の周辺には豊かな自然や歴史的、文化的資源が多く存在することから、観光スポットの開発、整備に取り組むとともに、観光PRや案内機能の強化を図ります。

これらの取組みについては、あつみ温泉の活性化に向けて多くの団体が活発な活動を展開していることから、その活動が効果的に展開されるようビジョンを共有し、住民参加による「そぞろ歩きの楽しいあつみ温泉」のまちづくりに取組みます。



観光客で賑わう「かじか通り」

### 基本方針（２） 「海・水産業を活かした地域振興」

温海地域は日本海に面していることから豊かな海洋資源に恵まれ、特に鼠ヶ関は漁業、ヨットや海水浴などの海洋レジャーの拠点となっています。この鼠ヶ関を拠点として温海地域の新鮮な魚介類を広くPRし漁業の振興を図るため、魚介類のブランド化を図る生産者の取組みを支援し、イベントを通じて新鮮な魚介類のPRの強化を行うとともに、後継者の育成を図ります。



「マリンパークねずがせき」と「弁天島」

また、海洋レジャー施設や景勝地、歴史・文化的資源を有効活用し、体験メニューの構築・商品化を行うとともに、指導者養成などの取組みを一層強化し、体験型旅行の受け入れ体制の整備を図ります。

さらに、海のみならず、中山間地の農業・林業等の体験事業と連携を密にしなが  
ら、温海地域の自然・施設・人を最大限に活用した取組みを行います。

### 基本方針（3） 「交流を核にした地域振興」

日本海東北自動車道の全線開通が現実的なものとなっていることから、地域内に設置される3カ所のインターチェンジ周辺の土を有効活用し、地域内外の交流を推進することで産業の振興に取り組めます。



「関川DEアクめきツアー」の様子

また、高速交通ネットワークの充実に伴い旅行形態が団体型から個人型に変化し、旅行ニーズも多様化していることから、地域内の豊かな自然や歴史、伝統文化、伝統工芸品などの地域資源を活用した体験プログラムの開発や地域内で開催される体験交流イベントの連携を図るとともに、その指導者や後継者の養成を支援します。

さらに、各地区の多様な食文化や生活文化を有機的に連動させ、地産地消の推進や地域特産品の活用による農林水産業の活性化を図ります。

## 5. 具体的な展開方策

### 基本方針（1）－ ①おもてなしの景観づくりの推進

温泉街の賑わいを創出するためには、地元住民がおもてなしの心を共有することが不可欠となります。温海川沿いの「かじか通り」の整備は誘客に大きな効果をもたらしていますが、周辺の景観づくりを行うことでより効果が期待される場所です。



足湯カフェ「チットモッシェ」

しかし、景観づくりには相当の費用負担が求められることから、旅館、商店をはじめとする観光・商工団体を主体とした「そぞろ歩きの楽しいあつみ温泉」の実現を支援します。

(ア) 「かじか通り」「葉月橋通り」を景観づくりの重点区域として「あつみ温泉まちづくりマップ」を作成し、住民との協働によるクオリティの高いおもてなしの景観づくりを推進します。

(イ) 空き店舗を活用した新規出店を支援し、温泉街の賑わいづくりを推進します。

(ウ) 店舗ディスプレイ講習会の開催や、のれん、イーゼルなどを効果的に活用することで温泉街の賑わいづくりを推進します。

### 基本方針（１）－ ②温泉周辺の観光スポットの整備

あつみ温泉の周辺には温海岳を中心としてトレッキングに適した環境が整っています。また、温泉街には歴史的、文化的資源が多く残されており、この環境を体験型、滞在型観光の目玉として有効活用し、あつみ温泉の誘客に取り組めます。



名瀑「湯見ヶ滝」

(ア) 温海岳や天魄山、湯見ヶ滝などのトレッキングコースや既存イベントなどの観光資源をより魅力あるものにするとともに、あつみ温泉との結びつきの強化を図ります。

(イ) 歴史的、文化的資源の整備、充実を図り、滞在型、体験型旅行の資源として有効活用を図ります。

(ウ) 多様化する観光ニーズを的確にとらえ、情報発信ツールの有効活用によるPRを強化します。

### 基本方針（１）－ ③観光ガイドの育成と観光案内機能の強化

観光地にとって、そこに住む住民も貴重な観光資源であることから、人によるおもてなしの充実を図るとともに、まちづくりに携わる多くの団体の活動が、より効果的なものになるよう取り組みます。



観光ガイドによる観光案内

(ア) 各団体がまちづくりのビジョンを共有し、あつみ観光協会を中心にした主体的かつ効果的な活動を展開できるよう支援します。

(イ) 観光ガイドの育成や観光案内機能の強化を通し、人によるおもてなしの充実を図ります。

### 基本方針（２）－ ①新鮮な魚介類のPRとブランド化の推進

魚介類のブランド化を推進するためには、生産者である漁業者の技術や鮮度保持等を全体で取り決め、ルール化を図り他地域との差別化を図る等の努力が不可欠です。

一部のグループでは自ら産地表示や出荷ルールを決め、ブランド力の向上に努めております。

このような新鮮な魚介類をPRするためには、獲る人（漁業者）、売る人（仲買人等流通業者）、食べさせる人（飲食店経営者）が一体となり、鮮度やおいしさをPRする必要があります。そのため、漁協・行政も交えた一体的な戦略による漁業の振興と後継者の育成を図ります。



温海沖で獲れる新鮮な魚介類

- (ア) 鼠ヶ関地内に新鮮な魚介類を提供する食堂や直売所の整備を検討します。
- (イ) 漁業者自らのルール作りによるブランド化を推進します。
- (ウ) 「大漁旗フェスティバル」「イカまつり」「岩ガキフェスティバル」などのイベント開催によるPR活動の強化に取り組めます。

### 基本方針（2）－ ②水産加工品の研究開発

鼠ヶ関港水揚げの新鮮な魚介類を活用した水産加工品は、「イカの一晩干し」をはじめとした干物が代表的であるが、消費者のニーズに合った新たな加工品の開発を行政、県漁協、加工業者が一体となって推進します。



名物「イカの一晩干し」

- (ア) 新鮮な魚介類や地域の魚食文化を消費者に広くPRします。
- (イ) 水揚げされる魚介類の付加価値を高めることで有利な販売に結びつけ、販路の拡大を図ることにより、漁業者の所得向上を目指します。
- (ウ) 従来加工商品にとらわれない、新たな加工品の開発や未利用魚などの潜在的資源を利用した加工品開発を支援します。

### 基本方針（2）－ ③海洋レジャー基地としての環境整備

「はなさき路（みち）」はマリーナやマリナーパーク、キャンプ場などのレジャー施設、弁天島などの景勝地に近接し、鼠ヶ関港からの新鮮な魚介類の確保も容易であることから、これらの施設の有効活用と併せて、各種イベントの中心地として整備、活用を図ります。



大好評！「漁船クルージング」

- (ア) 鼠ヶ関地域協議会「蓬莱塾」では、はなさき路に直売所などの誘客施設や食堂等を設置することで観光拠点としての整備を検討しており、その事業主体の選定や人材発掘も含めた取組みを支援します。
- (イ) 鼠ヶ関地内の歴史・文化をテーマとしたツアー観光客が増えつつあり、ストーリー性を加えた観光メニューの開発で更なる誘客を図ります。
- (ウ) 海を活用した体験メニューの構築、指導者養成などの取組みを強化します。
- (エ) 農業・林業等による体験プログラムとの連携を図り、温海地域の体験プログラムの拠点として整備を図ります。

### 基本方針（3）－ ①インターチェンジ周辺の土地利用の推進



あつみ温泉インターチェンジ周辺

日本海東北自動車道の全線開通が現実的なものとなり、高速交通ネットワークの構築が目前に迫っています。これに伴い温海地域内には既設の「あつみ温泉 I C」と「いらがわ I C」、予定される「鼠ヶ関 I C（仮称）」の3か所のインターチェンジが設置されることから、このインターチェンジ周辺の土地の有効活用を図ります。

- (ア) インターチェンジ周辺の土地を有効活用し、休憩施設、商業施設の設置や温泉街への誘導を図ることにより、産業振興と地域活性化を推進します。

### 基本方針（3）－ ②温海地域全体をフィールドとした体験プログラムの開発と指導者養成

鼠ヶ関地域協議会「蓬莱塾」が教育旅行の受け入れに向けて指導者の養成を始めており、今後事業が本格化すると思われます。また、25年度からは福栄地域協議会「福の里」が事業を開始しており、地域内各団体の連携による活性化に取り組めます。



自然体験実践指導者養成講習会

- (ア) 教育旅行や体験型旅行の受け入れに向け各団体の連携を図るとともに、自主的な活動体制の構築を支援します。
- (イ) 体験プログラムの開発や指導者養成などの環境整備を推進します。

### 基本方針（3）－ ③体験型・滞在型旅行や教育旅行の誘致に向けた環境整備とPR

旅行形態が体験型、滞在型へシフトしていく中で体験プログラムの開発が求められるところです。

これまで自治会や各団体により多くのイベントが開催され地域の活性化に大きな役割を果たしていますが、いずれも一過性のものになりがちであり、マンネリ化も懸念されることから、その継続性の確保と実施団体が連携を密にすることでイベント効果を高めるための支援を行い、体験型・滞在型旅行や教育旅行のメニューとしての活用を図ります。



温海トライアスロン大会

- (ア) 各自治会や団体において独自に開催されているイベントを有機的に結びつけ、体験プログラムとして再構成を図ります。
- (イ) 指導者の養成、確保など休日にとられない実施体制の整備に取り組めます。
- (ウ) 「さくらマラソン」や「トライアスロン」、「大漁旗フェスティバル」など各団体によるイベントの継続に向けた取組みを支援します。

### 基本方針（3）－ ④地域内連携による地産地消の推進

温海地域の農林業は耕地面積が狭小であることから「少量多品目」が特徴となっていますが、集荷、販売が難しいことから所得に結びつかない現状があります。

一方で地域内には消費量の多い「あつみ温泉」があり、安全・安心で特色のある食の提供が求められていることから、生産地と消費地を有機的に連携させ、地域内産業の活性化を図ります。



早田集落に伝わる「早田ウリ」

- (ア) 地産地消コーディネーターを養成し、温海地域の食材や食文化を消費量の多い「あつみ温泉」の旅館に提供するシステムを構築することで観光客への安全・安心な食の提供と地域内産業の活性化を推進します。
- (イ) 温海地域の食材を活用した、新たな食文化の開発を支援します。

### 基本方針（3）－ ⑤地域特産品の活用と育成

温海地域は、豊かな自然が生み出す「温海かぶ」などの貴重な農林産物や新鮮な魚介類などの豊富な食材から生まれる独自の食文化を有しています。また国指定の「しな織」や「温海こけし」といった伝統工芸品も多く残されており、これらの特産品を活用した活性化を図るとともに、新たな特産品の研究開発に取り組めます。



しなの木の花

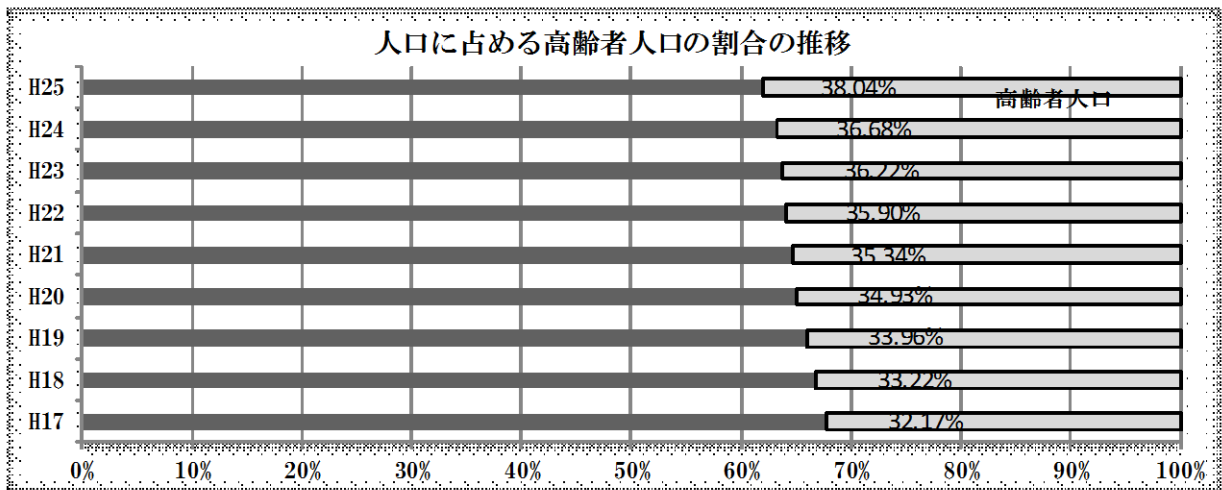
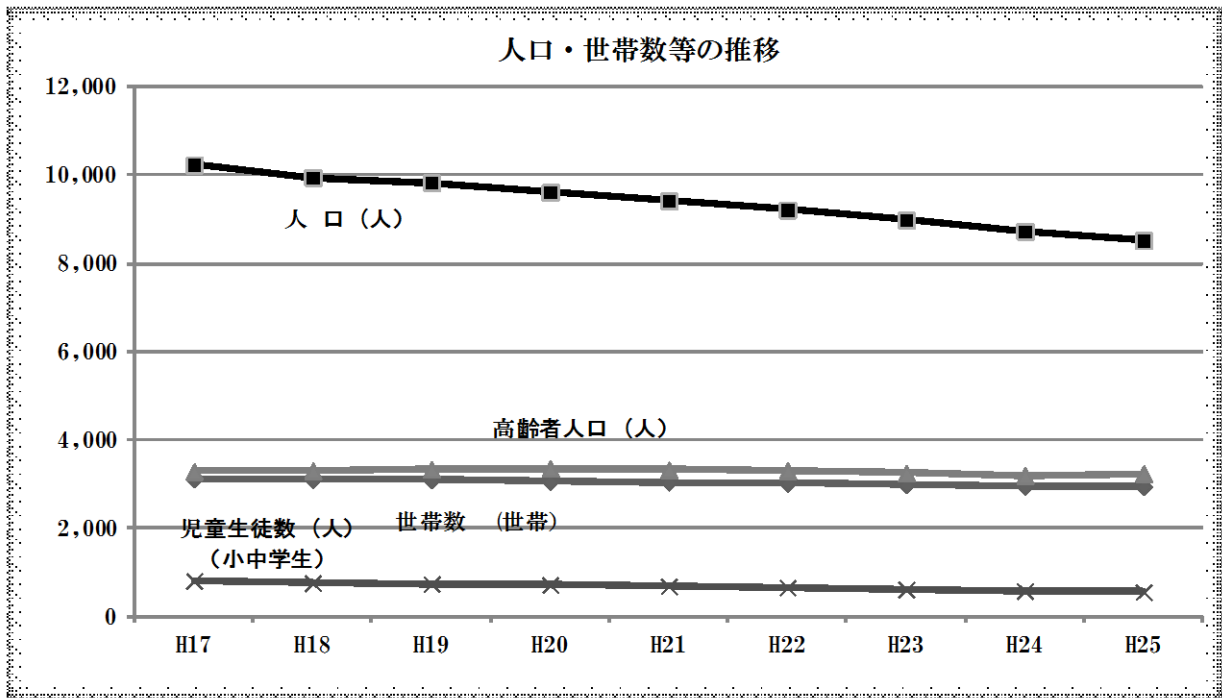
- (ア) 温海地域の特産物を広く売り出すため、PRの強化を図ります。
- (イ) 特産品の生産技法や品質を維持・継承するため、後継者の育成に取り組めます。
- (ウ) しなの花を活用したお茶、化粧品など、新たな特産品の研究開発に取り組めます。



[参考:統計資料]

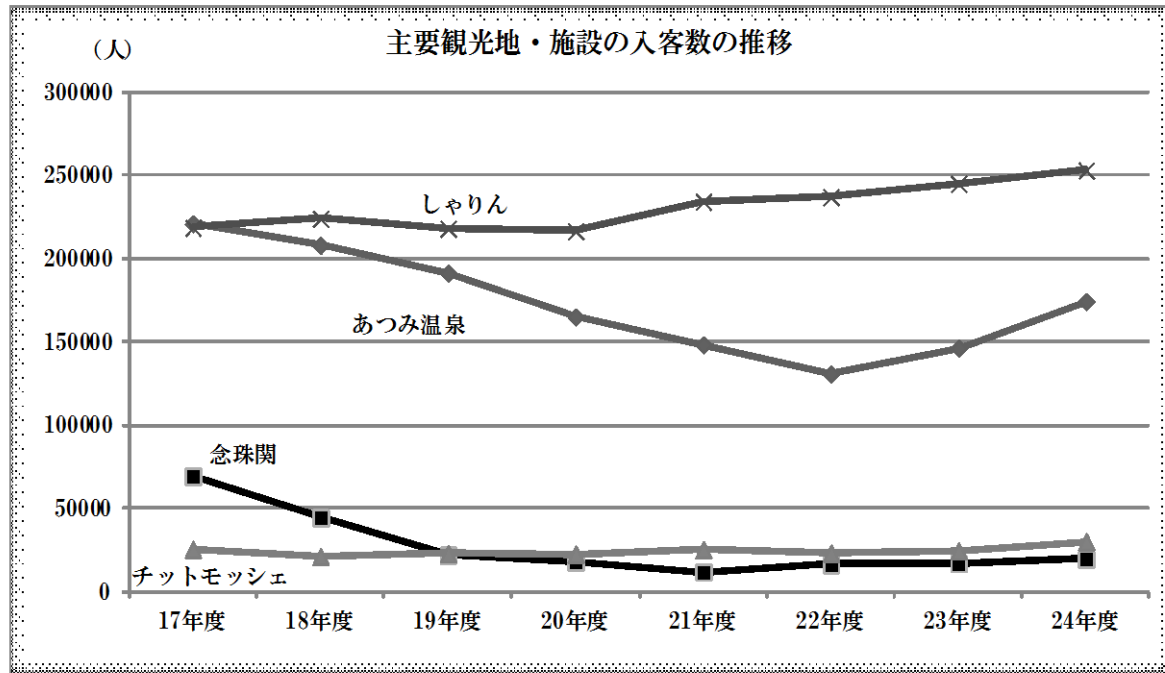
区 分		単位	温海地域	市全体
人 口	H17.10.1	人	10,124	143,990
	H25.9.30	人	8,397 (減少率17.1%)	134,909 (減少率 6.3%)
世帯数	H17.10.1	戸	3,107	45,493
	H25.9.30	戸	2,917 (減少率6.1%)	48,342 (増加率 6.3%)
面 積		平方k m	255.4	1311.51
就業者数	H22国勢調査		4,604	65,987
		第1次産業	人 767	6,566 (10.0%)
		第2次産業	人 1,397	19,645 (29.8%)
		第3次産業	人 1,978	39,298 (59.6%)
販売農家数	2010農林業センサス		戸 321	4,538
		専業	戸 49	577
		第1種兼業	戸 37	1,187
		第2種兼業	戸 235	2,774
工業事業所数	H22工業統計調査		事業所 35	484
商 業 (卸売業)	H19商業統計調査		事業所 18	341
商 業 (小売業)	H19商業統計調査		事業所 183	1,738
市営住宅	H25.4.1	戸	120	927
保育所	H25.4.1	所・人	5所 (園児数 165)	41所 (園児数 3,373)
幼稚園	H25.5.1	園・人	0園 (園児数 0)	11所 (園児数 829)
小学校	H25.5.1	校・人	5校 (児童数 344)	40校 (児童数 6,755)
中学校	H25.5.1	校・人	1校 (生徒数 218)	11校 (児童数 3,787)
高等学校	H25.5.1	校	0	9
医療施設	H25.4.1	所	7 (病院 0) (一般診療所 5) (歯科診療所 2)	165 (病院 8) (一般診療所 107) (歯科診療所 50)

## 温海地域世帯数・人口の推移



	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
世帯数	3,124	3,105	3,095	3,065	3,046	3,025	2,987	2,950	2,947
人口	10,234	9,947	9,830	9,613	9,418	9,212	8,980	8,727	8,522
高齢者人口	3,292	3,304	3,338	3,358	3,328	3,307	3,253	3,201	3,242
人口に対する割合	32.17%	33.22%	33.96%	34.93%	35.34%	35.90%	36.22%	36.68%	38.04%
児童生徒数 (小中学生)	807	761	739	719	689	660	614	581	558
人口に対する割合	7.89%	7.65%	7.52%	7.48%	7.32%	7.16%	6.84%	6.66%	6.55%

温海地域観光客数の推移

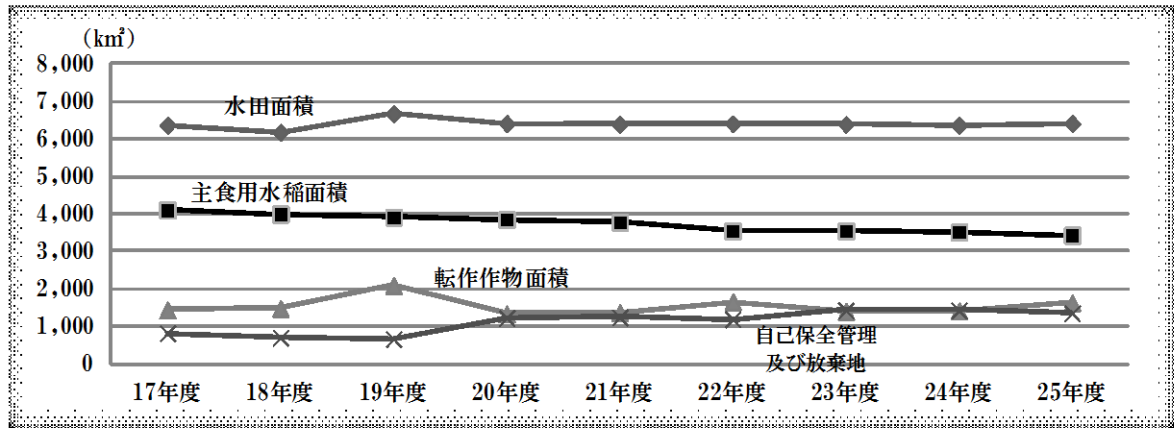


(単位：人)

観光地名		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
あつみ温泉	県内客	80,000	75,000	68,900	59,400	53,400	47,100	52,700	62,700
	県外客	141,000	133,000	122,400	105,600	94,900	83,700	93,600	111,600
	計	221,000	208,000	191,300	165,000	148,300	130,800	146,300	174,300
念珠閣	県内客	3,000	2,800	2,700	2,200	1,800	2,200	1,900	2,700
	県外客	5,500	4,900	5,200	4,100	3,900	4,300	4,300	5,200
	計	8,500	7,700	7,900	6,300	5,700	6,500	6,200	7,900
摩耶山	県内客	1,900	2,100	2,500	1,200	1,300	900	1,100	1,100
	県外客	800	1,000	900	600	700	400	700	600
	計	2,700	3,100	3,400	1,800	2,000	1,300	1,800	1,700
民 宿	県内客	3,900	3,800	5,500	5,700	3,700	4,800	5,500	5,000
	県外客	2,100	2,800	2,200	2,400	2,700	2,400	2,500	2,400
	計	6,000	6,600	7,700	8,100	6,400	7,200	8,000	7,400
海水浴場(鼠ヶ関)	県内客	22,100	13,300	5,000	4,000	2,100	3,400	3,800	4,000
	県外客	38,800	23,300	8,900	7,400	4,000	6,400	7,000	7,500
	計	60,900	36,600	13,900	11,400	6,100	9,800	10,800	11,500
チットモツシェ	県内客	8,900	7,700	8,300	8,200	9,200	8,500	8,900	11,000
	県外客	16,600	13,400	14,500	14,400	16,000	14,700	15,600	19,100
	計	25,500	21,100	22,800	22,600	25,200	23,200	24,500	30,100
海のつり堀センター	県内客	15,900	24,800	12,600	12,400	15,000	7,800	5,300	1,600
	県外客	29,400	46,100	23,600	23,100	27,400	14,400	9,600	2,900
	計	45,300	70,900	36,200	35,500	42,400	22,200	14,900	4,500
道の駅あつみ「しゃりん」	県内客	76,500	78,400	76,300	75,800	82,000	82,900	85,800	88,500
	県外客	142,100	145,600	141,700	140,700	152,200	154,100	159,200	164,500
	計	218,600	224,000	218,000	216,500	234,200	237,000	245,000	253,000
あつみ温泉 一本木スキー場	県内客	1,700	1,800	5,400	5,300	6,200	5,600	6,600	6,300
	県外客	2,900	3,200	200	100	200	100	100	200
	計	4,600	5,000	5,600	5,400	6,400	5,700	6,700	6,500
念珠の松庭園	県内客	1,500	1,100	1,200	900	900	1,000	800	1,300
	県外客	2,800	2,800	2,800	2,300	2,000	2,200	2,100	2,800
	計	4,300	3,900	4,000	3,200	2,900	3,200	2,900	4,100
しな織センター・ しな織の里ぬくもり館	県内客	2,900	2,800	2,100	2,400	2,200	2,200	1,400	1,500
	県外客	5,300	5,500	4,600	5,000	4,700	4,500	3,200	3,100
	計	8,200	8,300	6,700	7,400	6,900	6,700	4,600	4,600
合 計	県内客	218,300	213,600	190,500	177,500	177,800	166,400	173,800	185,700
	県外客	387,300	381,600	327,000	305,700	308,700	287,200	297,900	319,900
	計	605,600	595,200	517,500	483,200	486,500	453,600	471,700	505,600

※百人未満四捨五入

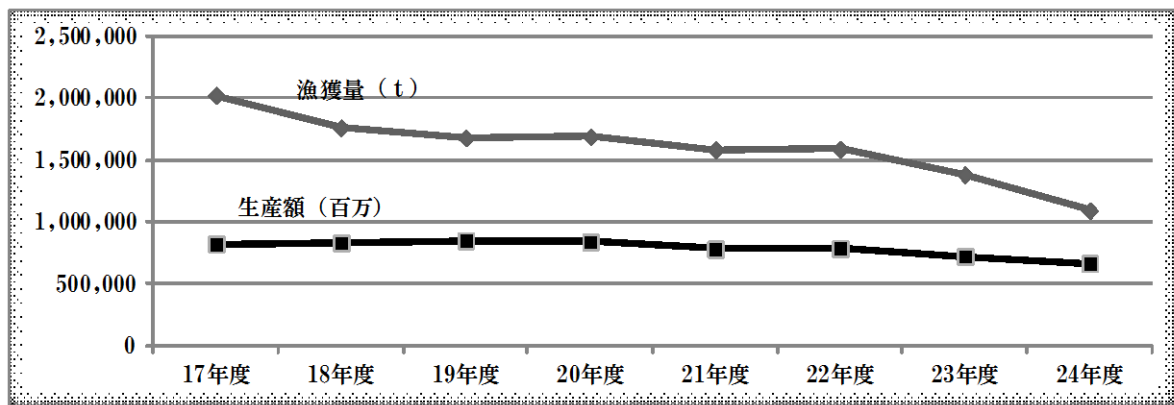
### 主要農作物の作付状況の推移



(単位:Km<sup>2</sup>)

	水田面積	主食用水稲面積	転作作物面積	自己保全管理 及び放棄地				備考
				かぶ	みょうが	わらび	そば	
17年度	6,370	4,107	1,441	47	84	83	192	822 放棄地面積含まず
18年度	6,182	3,994	1,485	54	98	83	181	703 放棄地面積含まず
19年度	6,671	3,912	2,094	45	109	93	198	665 放棄地面積含まず
20年度	6,417	3,852	1,338	46	106	89	253	
21年度	6,396	3,778	1,373	46	107	104	268	1,245
22年度	6,408	3,552	1,662	34	114	115	299	1,194
23年度	6,393	3,555	1,406	37	119	110	291	1,432
24年度	6,369	3,522	1,417	52	122	114	307	1,430
25年度	6,417	3,433	1,629	104	131	143	366	1,354

### 漁獲量・漁業生産額の推移



#### 温海地域の漁獲量の推移

(単位:t)

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
温海支所	91,516	73,874	85,880	89,397	106,374	87,773	77,109	80,132
念珠園支所	1,932,895	1,687,584	1,595,529	1,600,633	1,478,332	1,500,310	1,306,211	1,013,168
計	2,024,411	1,761,458	1,681,409	1,690,030	1,584,706	1,588,083	1,383,320	1,093,300

#### 温海地域の漁業生産額の推移

(単位:百万)

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
温海支所	71,755	73,264	82,607	80,895	90,604	75,269	72,615	82,557
念珠園支所	751,110	759,426	768,132	760,626	692,878	712,873	650,766	584,525
計	822,865	832,690	850,739	841,521	783,482	788,142	723,381	667,082

## 平成27年度主要事業の概要

温海庁舎 (単位:千円)

NO	事業名 (予算書P)	事業主体	事業内容	事業費	担当課
1	交通輸送対策事業 生活交通バス維持費補助金 (継続)	市	廃止路線代替バスへの運行補助を行い地域住民の日常生活の交通の便を確保する。	86,892 (市全体)	総務企画課
2	婚活支援事業 婚活支援事業 (継続)	市 事業実施 団体	少子化の一因になっている未婚化・晩婚化について、地域の実態を把握するとともに、企業や団体、地域と連携して結婚に向けた環境づくりを推進する。	4,593 (市全体)	総務企画課
3	過疎対策推進事業 地域おこし協力隊導入事業 (新規)	市	福栄地域の活性化と振興を図るため、都市部の意欲ある若者3名を受け入れ、人的、物的地域資源を有効に活用し、地域と一緒に地域づくり活動に取り組み、地域力の維持・強化を図る。	11,650	総務企画課 産業課
4	過疎対策推進事業 集落支援員設置事業 (継続) 集落振興ビジョン実践事業 (継続)	市	温海地域と朝日地域に集落支援員を各1名配置し、住民との共同作業による集落点検や課題把握を行い、集落の維持再生に向けた取り組みや集落ビジョンに基づく実践事業に対し指導・助言を行う。	9,945 (市全体)	総務企画課
5	防災行政無線整備事業 防災行政無線整備工事費 (新規)	市	老朽化したアナログ方式の防災行政無線をデジタル方式に更新する。	449,300 (市全体)	総務企画課
6	災害に強いまちづくり事業 海岸地域避難路整備連携事業補助金 (継続)	市	海岸地域の自主防災組織が行う避難路整備を支援し、津波災害対策の強化を図る。	1,500 (市全体)	総務企画課
7	市有財産管理事業 市有財産施設解体事業 (継続)	市	老朽化し危険な状態となっている旧鼠ヶ関教員住宅(昭和47年築)を解体し、土地の有効活用を図る。 ※事業優先順位1位	22,000 (市全体)	総務企画課
8	地域コミュニティ再生事業 集落活性化懇談会開催事業 (継続)	市	職員の地区担当制による集落活性化懇談会を開催し、地域課題の掘り起こしや解決に向けた取り組みを行う。 (住民自治組織ステップアップ補助金等)	4,210 (市全体)	総務企画課
9	自治組織等 運営活動対策事業 住民自治組織総合交付金等 (継続)	市	平成26年度から全市統一基準とした総合交付金として自治会に交付し、行政事務の円滑化及び集落の振興並びに運営の健全化を図る。	123,279 (市全体)	総務企画課
10	生涯学習振興事業 第30回温海さくらマラソン大会 及び第30回温海トライアスロン 大会への補助金 (継続)	大会実行 委員会	さくらマラソン大会 4月19日(日) 温海温泉を中心としたコース 約1,700人 参加予定 トライアスロン大会 7月19日(日) 鼠ヶ関を中心としたコース 個人230人、チーム30組参加予定 合併10周年記念事業として実施	1,800	総務企画課
11	生涯学習振興事業 公民館類似施設整備事業 (運営・活動に関する事業) (継続)	市	温海地域の自治公民館における公民館運営活動に対する支援。 ・温海地域27自治公民館 9,396千円	12,096 (市全体)	総務企画課

NO	事業名 (予算書P)	事業主体	事業内容	事業費	担当課
12	公民館類似施設整備事業 ..... 公民館類似施設整備等補助金	市	自治公民館の建物・設備の修繕、備品購入に対する支援。	3,363 (市全体)	総務企画課
13	公民館類似施設整備事業 ..... 温海地域施設整備特別補助金 (継続)	市	行財政改革による譲渡施設の修繕に対する助成事業 (越沢、木野俣、小名部)	42,000	総務企画課
14	重度心身障害(児)者社会参加促進事業 ..... 福祉タクシー利用料金助成費、福祉給油券助成費 (継続)	市	1人年間36枚のタクシー券を交付し、市と委託契約を締結しているタクシー業者を利用した際1枚につき500円を助成する。また1人年間18枚のガソリン券を交付し、市と契約締結している業者を利用した際1枚につき500円を助成する。タクシー券、または給油券を選択する。ただし、給油券は自動車税等の減免を受けている方が選択可能。対象者は身体障害者手帳1級から3級、療育手帳A、障害者手帳(精神)1級手帳保持者。	33,638 (市全体)	市民福祉課
15	高齢者施設運営事業 ..... 高齢者生活福祉センター運営業務委託料 (継続)	市 (あつみ福祉会に事業委託)	在宅での生活に支障がある高齢者に、一定期間住居を提供し、各種相談、助言及び緊急時の対応を行う。	3,272	市民福祉課
16	放課後児童対策事業 ..... 放課後児童対策事業委託料 (継続)	市 (あつみ福祉会に事業委託)	「あつみ保育園」に併設し、あつみ福祉会が運営する放課後児童クラブで小学生を対象に、授業終了後から午後5時30分まで「あつみっこクラブ」を開設する事業を委託。保育料は6,500円で、兄弟で利用している場合は2人目以降4,500円、長期休暇加算3,000円で兄弟で利用の場合は2人目以降1,500円加算。	128,050 (市全体)	市民福祉課
17	民間保育所への各種補助事業 ..... 温海地域保育所通園費補助金 (継続)	あつみ福祉会	あつみ福祉会が行う保育園へ通園する園児の送迎事業に対して市が経費の一部を補助する。	17,393	市民福祉課
18	予防接種事業 ..... 予防接種委託料等 (継続)	市	・予防接種法に基づき、予防接種を実施する。(BCG、四種混合、麻疹・風疹、日本脳炎、二種混合、ヒブ、小児用肺炎球菌、子宮頸がん予防) ・65歳以上に対してインフルエンザ予防接種費用を助成する。	275,249 (市全体)	市民福祉課
19	健康診査事業 ..... 健康診査委託料等 (継続)	市	がん、心臓病、脳卒中・糖尿病などの生活習慣病の予防や早期発見のため、年1回必要な健診と健診結果に基づく指導を行い、働き盛りからの健康管理と老後の健康保持に役立たせる事業	229,371 (市全体)	市民福祉課
20	塵芥収集事業 ..... 一般廃棄物収集運搬業務委託料 (継続)	市	地域内の各家庭より排出される家庭ごみ(一般廃棄物)の収集運搬業務を委託する。	274,363 (市全体)	市民福祉課
21	介護予防地域活動推進事業 ..... 介護予防地域活動推進業務委託料 (継続)	市 (地域の自主的団体に事業委託)	公民館等の施設を利用し、軽スポーツ、保健福祉に係る健康相談、健康教室、介護教室等を実施し、高齢者の閉じこもり防止や介護予防を行うことにより生きがいをもって暮らしていただけるように支援する。また、協力員などの組織化により地域ボランティア活動を普及する。	1,100	市民福祉課

NO	事業名 (予算書P)	事業主体	事業内容	事業費	担当課
22	地域活性化事業 ..... 焼畑あつみかぶブランド力向上 対策事業補助金 (継続)	焼畑温海か ぶブランド 向上対策協 議会	「焼畑あつみかぶ」の品質の保持、安定 生産とブランド力向上を図るため、ロゴ マークを活用したPR、優良種子採種実 証事業、栽培技術伝承のための研修会開 催等の取り組みに対して支援する。	450	産業課
23	都市農村共生・対流総合対策交 付金 ..... 都市・農山村交流促進事業補助 金 (継続)	福栄地域協 議会「福の 里」	福栄地区にある資源を活用し、都市との 交流や食文化等の継承を目的として、地 域内連携と活性化を図る。(人材活用対 策分)	1,580	産業課
24	地域活性化事業 ..... 福栄地域活性化事業補助金 (新規)	福栄地域協 議会「福の 里」	福栄地区協議会「福の里」が、自然資源 を生かした体験活動・地域連携事業等の 実施、ホームページを活用した情報発信 と集落間の情報共有等を図る活動を支援 する。	400	産業課
25	環境保全型農業直接支援事業 ..... 環境保全型農業直接支払交付金 (継続)	申請農家	有機、特別栽培を基本とし、さらに環境 に配慮した農業を実践する個人に対して 10aあたり一定額を交付する。	26,496 (市全体)	産業課
26	中山間地域等直接支払交付金事 業 ..... 中山間地域等直接支払交付金 (継続)	協定集落	中山間地域における営農活動の条件不利 を補正するため、4期対策に取り組む協 定集落に基準額を交付する。 協定期間はH27～31年度までの5年間。	275,485 (市全体)	産業課
27	鳥獣被害対策事業 ..... 有害鳥獣による農作物被害防止 対策事業 (継続)	市  鳥獣被害防 止対策協 議会	有害鳥獣における農作物の被害を未然に 防止するため、猿の成育域調査や爆音機 購入等の追い払い用機材、狩猟免許取得 購入経費などに対し一部助成などを行 う。	14,691 (市全体)	産業課
28	多面的機能支払活動支援事業 ..... 多面的機能支払交付金 (継続)	協定集落等	地域全体で農地・農業用水路等の保全管 理を行う体制を整備する共同活動と、土 地改良施設の長寿命化を図るための向上 活動に対し、基準額を交付する。	983,656 (市全体)	産業課
29	地籍調査費 ..... 地籍調査事業委託料ほか (継続)	市	地籍簿及び地籍図の作成 温海川地区 (中野俣・後田 調査面積 0.10km <sup>2</sup> ) 測量基準点の設置及び測量 木野俣地区 (向田・木野俣 調査面積0.09 km <sup>2</sup> )	2,961	産業課
30	林道維持管理事業 ..... 林道維持管理事業 (継続)	市	温海管内の林道の維持補修と管理を行 う。予算の範囲内において維持管理のた めの原材料を支給する。	1,930	産業課
31	間伐実施推進事業 ..... 美しい森づくり基盤整備事業 (継続)	市	温海地域の間伐を推進するため、美しい 森づくり基盤整備事業により補助金 (国 庫補助金に市が独自に18%を上乗せた 68%)を交付し、集約化施策が困難な森 林に対する間伐施策を支援する。	6,561	産業課
32	森林病虫害防除事業 ..... ①保全松林健全化整備事業 (継続) ②森林病虫害等防除事業 (松く い虫防除) (継続) ③森林病虫害被害木調査事業 (継続)	市	①松くい虫被害木の伐倒駆除業務 ②松林を松くい虫被害から守るための防 除 (薬剤の葉面散布) 業務 ③管内の森林における森林病虫害被害の 調査業務	1,218	産業課

NO	事業名 (予算書P)	事業主体	事業内容	事業費	担当課
33	森林環境教育推進事業 ..... 森林環境教育推進事業 (継続)	市	小学生から一般参加者、漁業者などが参加し、森づくり活動や森林学習活動等を行う。 ・天魄山森林自然教室 ・鼠ヶ関小学校森林自然教室 ・サラリーマン林太郎 ・ねずがせき魚の森づくり (追加)	826	産業課
34	水産業一般振興事業 ..... 内水面漁業振興事業 (継続) 鮭資源の増殖事業 (継続)	市	内水面漁協等が行う水産資源の増殖及び漁場環境保全の取組活動を支援する。 ・温海町内水面漁業協同組合 ・山戸漁業協同組合 ・庄内小国川漁業協同組合	801	産業課
35	漁港管理事業 ..... 漁港管理事業 (継続)	市	市が管理する漁港及び公衆トイレ、緑地などの維持管理を行うと伴に漂着物の回収・処分等を行い良好な漁港の保全を図る。(温福漁港船揚場改修工事1,500千円)	7,449 (市全体)	産業課
36	漁港施設整備改良事業 ..... 大岩川漁港防波堤改良事業 (継続)	市	市が管理する漁港の整備改良により、漁港内の静穏度を向上させ出漁時の安全性の向上と出漁回数の増加を図る。温海管内の大岩川漁港において防波堤100mの嵩上げ工事を実施する。	70,000	産業課
37	全国豊かな海づくり大会開催事業 ..... ①全国豊かな海づくり大会開催事業(新規) ②市の魚制定事業(新規)	市	平成28年度に山形県で開催する「全国豊かな海づくり大会」において、鼠ヶ関港で放流・海上歓迎行事が実施されるが、その準備・周知活動等を展開する。市の魚については、「市の魚制定委員会」を設置し選定する。	①補正対応 ② 343 (市全体)	産業課
38	地域間連携事業 ..... 漁村地域力向上事業 (継続)	鼠ヶ関地域協議会 「蓬莱塾」	鼠ヶ関の海洋資源や漁村ならではの資源を生かしたグリーンツーリズム事業や地域活性化事業に対して支援を行う。	400	産業課
39	地域活性化事業 ..... 都市・農山村交流促進事業 (新規)	小国ふるさと振興会	事業主体が楯山荘、小国交流促進センターを活用して実施する都市・農山村の交流活動に対して支援を行う。	450	産業課
40	地域活性化事業 ..... しなの花活用プロジェクト事業 (継続)	しなの花活用プロジェクト研究会	しなの木の花を活用した製品開発とその事業化を目指すため、関川自治会、慶應義塾大学先端生命科学研究所、企業及び行政が連携して取り組むプロジェクトを支援する。	900	産業課
41	地域活性化事業 ..... あつみ体験旅行推進事業 (新規)	NPO法人	教育旅行の受入や体験交流事業の拡大による交流人口の増加を図るため、NPO法人自然体験温海コーディネートを支援し、官民一体となった取組みを展開する。	3,600	産業課
42	地域活性化事業 ..... 温泉街賑わいづくり促進事業 (新規、一部継続)	出羽商工会	あつみ温泉街の魅力ある店舗づくりを促進するため、のれんやイーゼルの設置を支援するとともに、商店街活性化に資する取組みを支援する。	592	産業課



N0	事業名 (予算書P)	事業主体	事業内容	事業費	担当課
43	地域間連携事業 あつみ温泉集客イベント実施事業 (継続)	あつみ温泉魅力づくり推進委員会	あつみ温泉への誘客を促進するため、能や伝統芸能を活用した「せせらぎの能」の開催を支援する。	2,000	産業課
44	羽越しな布振興事業 伝統的工芸品振興事業 (継続)	羽越しな布振興協議会	国の伝統的工芸品に指定されている「羽越しな布」の振興を図るため、後継者の育成、需要の拡大等に資する取組みを支援する。	350	産業課
45	観光一般事業 あつみ観光協会振興事業 (地域観光協会等補助金) (継続)	あつみ観光協会	あつみ観光協会の運営及び協会が行う観光宣伝、誘客等の各種事業を支援し、温海地域の観光振興を図る。	4,168	産業課
46	日沿道新潟県境区間 I C 周辺土地利用検討事業 日沿道新潟県境区間 I C 周辺土地利用検討業務委託料ほか (継続)	市	日本海沿岸東北自動車道新潟県境区間の事業調整を円滑に進めるとともに日沿道を有効に活用し地域の活性化を図ることを目的として、平成26年度に引き続き防災機能を確保する場合の施設形状や国道7号沿いにある既存の道の駅「あつみしゃりんと」の兼ね合いといった課題を整理して、供用中の「あつみ温泉 I C」及び整備予定の「(仮称)鼠ヶ関 I C」周辺にふさわしい土地利用や求められる機能を検討する。	5,044	建設部 都市計画課 建設部温海 建設事務室
47	道路維持事業 交通安全施設整備工事費 (継続)	市	市道 5 路線 ・ガードパイプ更新 1 路線 ・ガードレール更新 4 路線	2,400	建設部温海 建設事務室
48	道路新設改良事業 道路側溝整備、舗装新設 (継続)	市	市道 6 路線 ・道路側溝整備 4 路線 ・舗装改良 2 路線	16,950	建設部温海 建設事務室
49	道路公共事業 過疎地域自立促進事業 小名部線 (継続) 過疎地域自立促進事業 木野俣線 (継続) 過疎地域自立促進事業 高野沢 1 号線 (継続) 過疎地域自立促進事業 下小田線 (継続)	市	道路改良 (一部路面流水消雪施設整備) H24~27 全体延長 L=570m W=4.0(5.0)m 道路改良 H26~29 全体延長 L=920m W=4.0(5.0)m 道路改良 (路面流水消雪施設整備) H26~27 全体延長 L=140m W=4.0(5.0)m 道路改良 (路面流水消雪施設整備) H26~28 全体延長 L=430m W=4.0(5.0)m	96,700	建設部温海 建設事務室
50	都市計画管理事務 報償費、費用弁償 (継続)	市	温海地区まちづくりワークショップ	272	建設部温海 建設事務室

NO	事業名 (予算書P)	事業主体	事業内容	事業費	担当課
51	市営住宅新営改良事業 ----- 社会資本整備総合交付金事業 柳原住宅A棟 (新規)	市	外壁改修 A=1,233㎡	27,000	建設部温海 建設事務室
52	総合型地域スポーツクラブ 活動支援事業 ----- 総合型地域スポーツクラブ 育成支援事業 (継続)	市	「あつみスポーツクラブネクサス」について、地域における生涯スポーツの拠点として育成支援を行う。 ネクサス：961千円	6,482 (市全体)	スポーツ課
53	鼠ヶ関マリーナ管理業務 ----- 鼠ヶ関マリーナ管理運営事業 (継続)	市	鼠ヶ関マリーナを山形県より指定管理者の指定を受けハーバーマスターを配置し、施設を管理運営する。 指定管理期間平成27年4月1日～30年3月31日	15,922	スポーツ課
54	消防施設新営改良事業 ----- 消防施設新営改良事業 (継続)	市	非常備消防の防災体制強化のため、防火水槽、軽積載車、小型動力ポンプ、ポンプ車庫等の施設整備を行う。 (小岩川 小型ポンプ積載車更新他)	27,492 (市全体)	消防本部